

## JR三原駅に無人八百屋「駅ナカ八百屋」が誕生！ ～JR西日本広島支社×やさいバス（株）～



2021年9月16日  
西日本旅客鉄道株式会社

西日本旅客鉄道株式会社 広島支社地域共生室（以下、JR西日本）とやさいバス株式会社（以下、やさいバス）が連携し、地産地消の推奨と野菜を通じた地域のコミュニティづくりの施策として、JR三原駅に無人販売の八百屋「駅ナカ八百屋」を期間限定で開業します。

地域でつくられた新鮮な野菜を身近に手に取れる場所を提供することで、生産地と消費地を繋ぎ、地場農業の活性化を図ります。また掲示板を設置するなど、ツールを工夫することで、生産者⇄消費者⇄消費者のコミュニケーションを生み出します。

期間中にも進化を重ねる「駅ナカ八百屋」。お出かけや通勤などでJR三原駅に来られた際は、ぜひご利用ください。

### 1. 駅ナカ八百屋の特徴

販売する農産物は、やさいバスで三原駅に運ばれてくる、近隣で採れた新鮮な野菜や食べごろの果物などです。また、生産者の顔だけでなく、集荷時間や運搬ルートも駅ナカ八百屋での掲示やWEB等で知ることができます。普段住んでいる場所の近くで、こんなに素敵な農産物があるのかと驚いていただきたいと思います。

なお、JR三原駅をコミュニケーションの場として活用いただくため掲示板を設置しました。これにより、生産者の想い・拘り・独自レシピなどをご覧いただけるだけでなく、消費者も自由に書き込めるようになりました。生産者⇄消費者⇄消費者での繋がりづくりを目指します。

更に、売行き状況を生産者と共有し、出荷量の最適化をはかるためのDXツールの設置や、商品につけられたQRコードから生産者とコミュニケーションをとることのできる仕掛けの開発など、ますます地域のみなさまが利用したくなる場所を目指します。

### 2. 目的

- (1) 地域内で作られたおいしい野菜をより身近で手に取れる場所を提供することで、ファンづくりによる地域内農業の活性化を図る。
- (2) 掲示板の設置などツールを作成し、生産者⇄消費者、消費者⇄消費者、消費者⇄生産者、の3方向のコミュニケーションを生み出すことで、地域の方が集まり、居心地の良さを感じるコミュニティの起点を作る。

### 3. 事業内容

- ・場所：JR三原駅構内 1階コンコース 在来線改札前
- ・時期：9月21日（火）から10月末まで
- ・営業時間：毎日10時から20時（売り切れ次第終了。期間内で適宜変更の可能性あり。）

※21日（火）は11時半頃オープン予定です。

※やさいバスによる物流輸送は、火木土の週3回です。JR三原駅へは14:45に到着予定です。

それ以外の曜日は、三原駅への直接納品などにより八百屋を運営します。

#### 4. 広島県の実証事業「ひろしまサンドボックス」の採択について

やさいバスは、広島県の補助金事業「ひろしまサンドボックス」に採択され、JR 三原駅構内において無人販売の八百屋を期間限定で開催する運びとなりました。

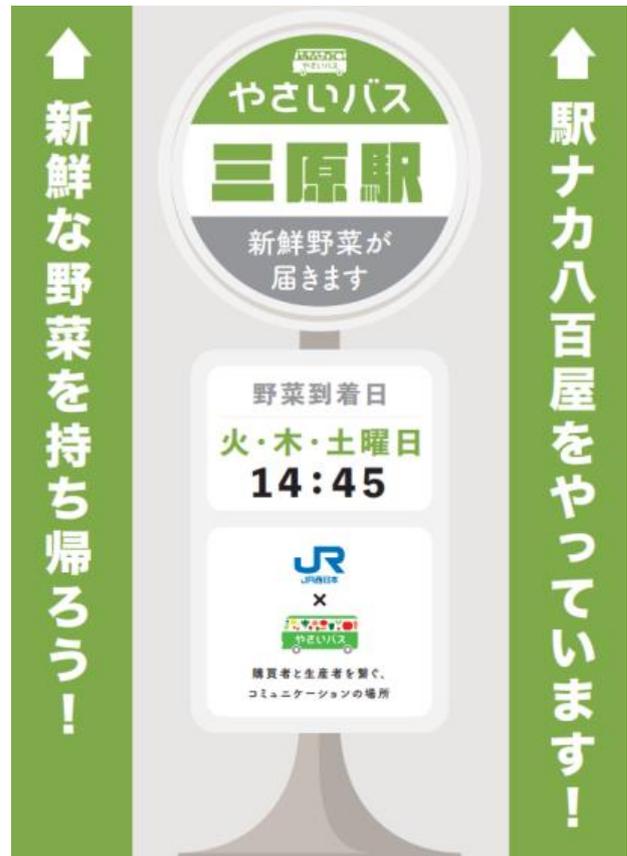
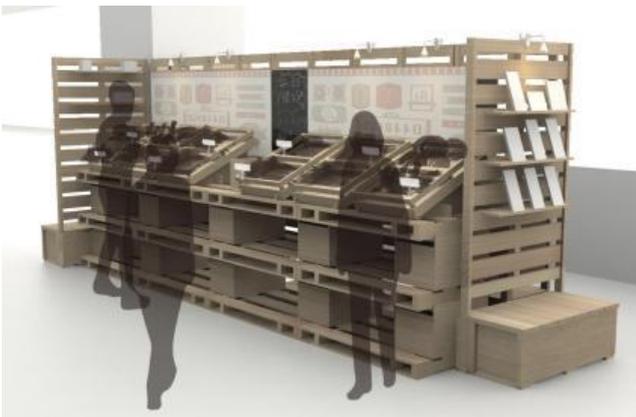
ひろしまサンドボックスとは

AI/IoT を始めとする次世代技術により新しいソリューションを創出し、県内外の企業や人材を呼び込み産業・地域課題を解決する、実証プラットフォームの場を提供する広島県主催の補助金事業。

#### 5. やさいバスと連携した過去の取り組み

JR 西日本とやさいバスは、昨年冬より連携し、県内6つの道の駅と空の駅、5つの市内企業を結び新鮮な野菜や特徴的な加工品を届ける「職域販売」を実施してきました。なお、中国ジェイアールバス株式会社、一畑バス株式会社、とも連携し、貨客混載の取り組みも開始しています。

#### 【参考資料】JR 三原駅ナカ八百屋のイメージ



©株式会社エムスクエア・ラボ M2DesignStudio